

今号の作業

燃料タンクキャップを取り付ける



今号では、「燃料タンクキャップ」を組み立てて、66号で小加工を施した燃料タンクに取り付ける。燃料タンクキャップは開閉が可能な構造になっているが、そのため非常に小さく細い金属ピンを使用する。紛失しないよう注意しながら作業しよう。

今号のパーツ



- ① 燃料タンクキャップ×1
- ② 燃料タンクキャップホルダー×1
- ③ 燃料タンクキャップチェック×1
- ④ 燃料タンクキャップピン×1
- ⑤ ビス(Aタイプ)×3
(※1本は予備)

※⑥は今回使用しないので、大切に保管しておこう。

用意するもの

- ・マスキングテープ
- ・メインフレーム(67号で組み立てたもの)
- ・ビニール袋(パーツが入っていた袋で可)
- ・油性ペン

使用する道具

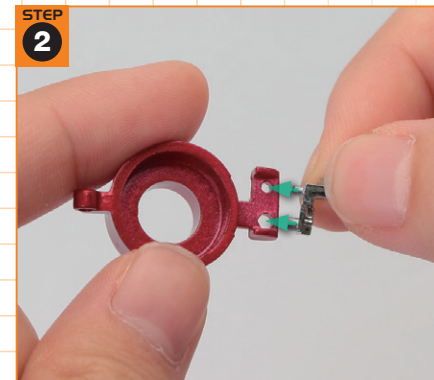
- ・ラジオペンチ
- ・ピンセット

※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。

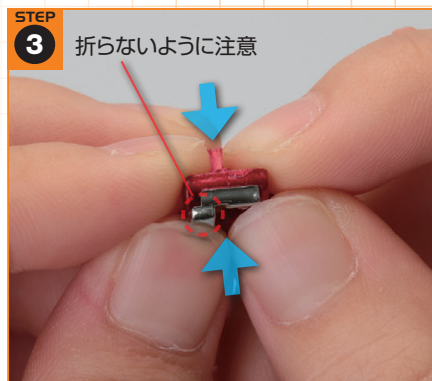
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様が異なる場合があります。



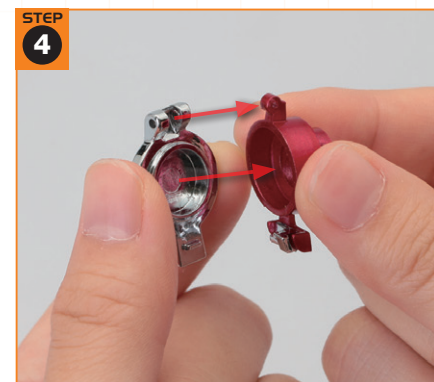
まず②燃料タンクキャップホルダーと、③燃料タンクキャップチェックの取り付け部分を確認しよう。燃料タンクキャップホルダーのリヤ側には、大小2つの穴が設けられており、キャップチェックには太さの異なる2本のピンが突き出していることを確認しておく。



燃料タンクキャップホルダーに、燃料タンクキャップチェックを写真のようにセットする(太いピンを大きい穴に、細いピンを小さい穴に)。



パーツをしっかり押し込み、燃料タンクキャップチェックをホルダーに取り付ける。



①燃料タンクキャップを用意し、③で組み立てたキャップホルダーと重ね合わせる。パーツの向きを間違えないよう、写真を参照すること。

STEP
5

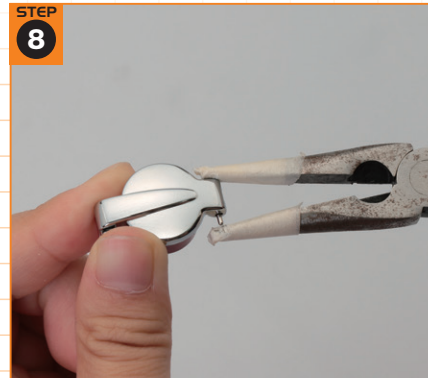
燃料タンクキャップと、燃料タンクキャップホルダーをはめ込む。上の写真のように真横から見て、緑丸で示した穴が貫通しているのを確認しよう。

STEP
6

マスキングテープを用意し、ラジオペンチの先端部分に巻き付けておく。これは次に行う作業時に、パーツを傷つけないようにするための対処だ。

STEP
7

④燃料タンクキャップピンを用意し、ピンセットを使って⑤の上の写真で示した穴にセットする。セットする方向は、穴の左右どちらでも構わない。また、燃料タンクキャップピンの向きも左右どちらでも構わないので、作業しやすい側を選ぼう。

STEP
8

マスキングテープを巻き付けたラジオペンチを使い、⑦でセットした燃料タンクキャップピンをゆっくりと、真っすぐに押し込む。ピンを折らないように慎重に作業しよう。

POINT

STEP⑤の上の写真に示した穴が、個体によっては“きれいに”貫通していない場合がある(パーツの塗料やメッキ処理時に穴が少々ふさがって狭くなった状態)。その場合でも、そのまま作業を進めて大丈夫だ。燃料タンクキャップピンは細いので、ラジオペンチでいかに押し込めば、しっかりはめ込むことができる。逆に工具などで穴を広げようとすると、穴が緩くなりピンが抜けてしまう恐れがあるので、避けるようにしましょう。

STEP
9

67号で組み立てたメインフレームから燃料タンクを取り外し、⑥で組み立てた燃料タンクキャップホルダーの裏面と、燃料タンク上部に設けられた取り付け位置の形状を確認する。

STEP
10

燃料タンクキャップホルダー裏面の突起とピンを、燃料タンク上部の取り付け位置に設けられたくぼみと穴に合わせてセットし、真っすぐに押し込む。

STEP
11

メインフレームを用意し、燃料タンクキャップを取り付けた燃料タンクを再びかぶせておく。

今号の完成



これで今回の作業は完了だ。今回組み立てたパーツは小さなものだが、それが備わっただけでもモデルのリアリティーは一段と高まったはずだ。なお、今号で使用しなかったビスは、燃料タンクをメインフレームに固定するためのものだ。この作業はもう少し先になるので、ビニール袋に油性ペンで号数を記入し、大切に保管しておこう。